

# <事業所全体による自己評価> R3.12.11実施

## happiness

項目	選択した理由	現状分析	解決目標	解決方法	期限	経過
身体状況・活動状況等について、日常的に活動する学校との間で連携が取れていますか(6) 日頃から利用児童の状況を保護者と伝え合い、利用児童の発達の状況や課題について共通理解ができていますか(8)	放課後デイサービスの支援を行うにあたって、職員としての基本的な共通理解が求められるから。 「分からない」「いいえ」の意見が出ているから。 情報共有が不十分な面があるから	・学校訪問に関しては限定的にしか行えていない(座位保持・バギーの調整) ・職種間で把握している情報に差がある(看護師・セラピスト・保育士、指導員等) ・その日の様子や体調を学校送迎時に引き継いでいる ・学校教員を交えた担当者会議が行えていない ・送迎時にしか引き継ぎが出来ておらず、保護者に伝わっていないかもしれない ・一部の職員でやりとりしている事を全員が把握できていない事もある	保護者、学校、放デイ間での情報共有を円滑に行う	・学校訪問に限らず、学校送迎時に必要な情報共有を行う ・ケース検討を1症例ずつ行う。職員間での情報共有を行い、職員全員が利用児に対する理解を深めていく ・学校との連携をとって良いかの確認を行う ・保育所訪問を行っていない利用児に関して、学校教員がいちばん星に来て頂く様に促す ・連絡帳での情報把握を今後も続けていく	1年	・コロナ禍のため、中々学校訪問に行けておらず。 ・学校送迎時、学校の先生とこどもの状況等を話すことを強化したため、先生から話してくれることも増えた。 ・お子さんの状況を職員間でより共有していくため、少人数チーム制を2つ作り、担当のお子さんについてケース検討など行った。こうしたことで、担当しているこどもたちへの共通理解が増えた。ただし、チーム間での情報を共有することが中々難しい面もあったため、今後の課題となるか。
利用児童や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、利用児童や保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応していますか(11)	対策をとれている事がある一方で、今後も継続的に取り組んでいく必要があるから。 家族からの信頼を得るには今後の必要な事だから。	・ヒヤリハット等に関してはクローズミーティング等を導入して迅速に情報交換を行えている ・ヒヤリハット、忘れ物に関しては現状まだ多い(連絡帳・水筒など) ・利用児や職員の数が多く部屋も別れている為、把握しづらい点がある	忘れ物をゼロにする 継続して苦情件数をゼロにする	・タイムスケジュールを把握して、時間に余裕を持って行動する ・細かい事でも職員間で伝達する事、管理者へ報告する事を心がける ・日頃から誠意を持った対応を心がける ・当事者と管理者で迅速な対応を行う ・再発防止に務める	1年	・一人ひとりのお子さんに対して、小物入れを使うなど、物品の管理を「見える化」することで、忘れ物の数が大いに減った。 ・グループを一つにし、大部屋でグループ運営を行うことで、情報共有やお子さんの様子の把握もしやすくなった。 ・連絡帳の記入欄に、保護者様からの指摘を受けることは何度かあったが、都度迅速に対応することで、苦情にまでつながらなかった。
非常災害の発生に備え、療育の中で定期的に避難、救出、その他の必要な訓練が行われていますか(16)	あらゆる災害や状況を想定した訓練が行えていない。 職員の意識も低い。 子供を交えた訓練ができていない。	・いちばん星全体で行う災害訓練に参加するのみ、部署単独での訓練は行えていない ・職員のみで訓練を行っている(利用児は不参加) ・災害時の必要な物品(非常リュック)の保管場所が周知されていない、取りづらい場所にある ・訓練した事を保護者に周知できていない	災害が発生した時に適切な対応を行える様にする 家族に災害対策方法、マニュアルを把握してもらう	・様々な災害に対応できる危機意識を持つ ・月1回、活動の中で様々な状況を想定した訓練を行う(利用児含む) ・保護者に対応マニュアルを提示する ・職員の役割分担を明確にする ・訓練した事を保護者に周知する	1年	・月1回の避難訓練はできておらず、全体研修の中で避難訓練を行うことでとどまっている現状である。 ・非常用リュックの置き場所は、持ち出しやすい位置に変更。 ・災害対策は職員で確認することもあるが、保護者様に周知できていないため、今後はインスタグラムなどSNSを活用していくことも課題か。